

エレナ・ダニルコ

ロシア科学アカデミーニコライ・ミクルーホ＝マクライ記念民族学・人類学研究所、歴史学博士

『ヴェショールイエ山塊へのソ連映画のまなざし：歴史資料としてのドキュメンタリー映画』

本報告では、ロシア国立映画・写真資料公文書館（РГАКФД: Российский государственный архив кинофотодокументов）が所蔵する古儀式派の礼拝堂派についてのソ連のドキュメンタリー映画『ヴェショールイエ山塊¹で』を例に、歴史研究で視覚的な資料を使用する可能性を検討する。アーカイブ調査により、映画の帰属を特定し、作者と制作状況を明らかにした。映画『ヴェショールイエ山塊で』では、その後の無神論キャンペーンに先立つ一連の出来事が記録されている。映画に映し出された聖地巡礼という宗教的実践は、撮影の1年後に中断した。この作品に登場する人々の運命は、コミュニティにとって重要な人物も含めて、さまざまな形で展開した。映画の明確なイデオロギー的なメッセージや、視覚的なテキストに関連するドキュメンタリー性の相対性にもかかわらず、歴史的な出来事や文脈、宗教的コミュニティとソビエトの近代性との相互作用の形態についての研究の考察を刺激する重要な資料である。

（塚田 力 訳）

¹ 訳注 Весёлые горы。中央ウラル地方の森林に覆われた山地。ニジニ・タギル市、ゴルノウラリスク市及びスヴェルドロフスク州キロヴグラード市の西部に位置し、北のチャウジ川から南のスレム川の源流まで、南北方向に約30キロmにわたって広がる。低山で、数か所が海拔700mを超えている。最も高い山頂は、標高755mのスタリック＝カメン山。以下、シロカヤ山746m、ゴラヤ山738m、ピリンバイ山723m、ディカヤ山719m、ヴェセリキ山718m、ベラヤ山712m。